



グループ通信

発行／ふれディアグループ本部 編集部
〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4
朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎ 0120-116-017

こんにちは、ふれディア通信編集部です。 だんだん暖かくなってきましたね。 皆さん、いかがお過ごしでしょうか？ 3月のイベントといえば「ひな祭り」がありますが、3月3日は「耳の日」でもあります。 3（み）月3（み）日の語呂合わせが由来です。 五感の一つである、聴覚をつかさどる耳。 今回は、聴覚の興味深い話をご紹介します。 皆さんは普段、どちらの耳に電話（スマートフォン）の受話器をあてていますか？ 右？ それとも左？ 実は、手に利き手があるのと同様に、耳にも“利き耳”というのがあるそうです。 電話を右手でとる人の利き耳は右耳が多く、左手でとる人の利き耳は左耳が多いとか。 すでにご存じかもしれませんが、左脳は言語処理や計算など論理的な思考をする脳で、右脳はアイデアを生みだし感情を処理する脳です。 ですから、電話などの言語の内容は、左脳で処理されています。 かなりざっくりとした説明になりますが、利き耳が右耳の人は、右耳→脳幹→左脳と情報が移動しています。 利き耳が左耳の人は、左耳→脳幹→右脳→左脳というふうに、右脳を経由してから情報が移動しています。 左脳に到達するまでに少しだけ差があるため、利き耳が右耳の人の方が言葉の内容理解に優位と考えられているようです。 ですが…そこは脳の神秘、人体の神秘！ 確かに理論上はこのように考えられていますが、スパッと説明のつくものでもないらしいのです（苦笑） 利き耳については、群馬大学の先生が長年研究されているようで、今も研究中という情報もあります。 私たちに専門的な研究はできませんが、個人的に実験はできますよね。 例えば、次のような実験はどうでしょう？ 病院の先生の説明を聞く時は、正確に聞き取るために右耳を意識して聞いてみる。 誰かから相談を受けて、気持ちに寄り添って聞く時は、左耳で聞いてみる。 あるいは、人に共感しすぎて心が疲れてしまう人は、あえて右耳で聞く。 音楽鑑賞は左耳を意識してみるなど。 春になると制度が変わったり、年度末・年度初めで学校や会社の説明会があったり、新しい情報に触れる機会が多いですね。 そんな時は、耳の日を思い出して、左右の耳の使い分けの実践や実験をしてみてください。 面白いかも知れません。 それでは、今月も元気にお過ごしください！

ふれディア通信編集部



脳がイキイキ! 健康クロスワード

解答は別ページに載っています。

タテのカギ

- きゅうり巻きの別名。
○○○巻き。 
- 単位は「貫」。
2貫セットが定番です。
- カレー○○○、オム○○○、ハヤシ○○○。
 
- ネーミング・ライツと呼ぶことも。 施設などの○○○○権。
- 稚魚がチリメンジャコやシラスになる魚といえば？ 

ヨコのカギ

- 艶のある綺麗な黒色のこと。
○○○の濡れ羽色。 
- 大谷翔平選手がメジャー初の○○○打者でMVPを獲得。
- 円の長さや面積を求める時に欠かせない比率。
- まるで○○取りゲーム。 満員電車での攻防戦。 
- 生○○○、茎○○○、塩蔵○○○。
- 支払うのは利息。 受け取るのは？ 
- 優れた嗅覚の持ち主で警察とともに活動するケースも。

上手に活用すれば減塩にひと役買うものといえは？ A~Dをつなげた言葉が答えです。

1		2 A		3
		4	5	
6 B	7		8	D
		9		
10			11 C	